

大風 便り 第231号



ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和7年8月15日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

I P: 050-8034-1140

開館時間: 9時～17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、ご家族でお越し下さい



～「未来へつなぐ、東近江大風」～ ＝100 畳敷東近江大風の制作始まる！！＝

7月26日(土)から、約12年ぶりとなる100畳敷東近江大風の制作が始まっています！初日の儀式となる「のりつけ式」には約70名の方にお越しいただき、制作再開への熱気あふれる中、風の図柄が発表されました。発表された風の絵には「祝」の文字と「鶏」の絵が描かれており、「慶祝昭和100年」というはんじもんになります。昭和とは良くも悪くも激動の時代でありながら、現在の日本の礎を作りあげた時代です。様々な苦難を乗り越えてきた先人のたくましさや叡智を見つめなおし、その学びをもって、これからのグローバル社会を元気に邁進していこうという願いがこめられています。

はんじもんの意味を解説したので、今度は骨組みに入るまでの絵付け工程を説明させていただきます。次号にて完成までの工程もご紹介！予定なので、あわせてお楽しみください！
【君にもつくれる！東近江100畳敷大風の作り方(前編)】

用意するもの: 糊、刷毛、和紙、墨つぼ、メジャー、木炭、鉛筆、墨、朱墨、風呂桶、筆

① はじめに、約400枚の和紙を糊で煉瓦積みのように貼り合わせて100畳サイズの紙にし、骨組みの設計図となる「墨打ち」を行います。これは骨組みのためだけでなく、絵や文字をかき入れるための目安にもなるためとても重要な作業です。寸法を間違えないよう、墨を打つ人、寸法を指示する人など役割を決めて行います。綺麗にはじくのは意外と難しいんです。

② 次に下絵と文字の工程です。ペレット(プラスチックの粒)を用いて文字の形取りをし、決定すれば輪郭を鉛筆で縁取りしていきます。このやり方だと、バランスを確認しながら何度でも文字の修正ができるという大きなメリットがあります。

細かな調整を行い出来上がった文字の下絵に朱墨で色をのせていきます。

③ ②の作業に並行して絵の下絵も進めていきます。墨打ちの線を目安にしながら絵の線が風のどのあたりを通るのか確認し、腕や身体全体を使って少しずつ描き進めていきます。使用するのは鉛筆と木炭です。この時に描くのは片側のみですが、左右対称にするために、紙を半分に折って木炭の粉を反対側へ刷り込みます。こうすることで転写され、東近江大風の印象的な左右対照の絵にすることができます。

④ 下絵が終わると、いよいよ墨入れ、色つけの工程です。墨入れでは、大風保存会の方が中心となり、まず線をどの太さの筆で描くかが決められます。単に筆を選ぶだけでなく、刷毛の使い方を揃



書: 中島陽子/絵: 臼田健人



えることで線画の雰囲気や均一にするなど、細やかな気配りがされていました。墨線が入りはじめると一気に風の全体像がみえ、作っている感が出てくるので大風作りのなかでも特に楽しい作業かもしれません。

⑤ 色付けでは、線描した絵に色見本を参考にしながら指定された濃さの薄墨をのせていきます。絵の印象が決まる仕上げの作業です。墨入れと違い、水で薄めてある分滲みやすくなっているため、俄かに緊張感が漂います。また、紙が大きいと水を吸う量も多く、乾き具合にばらつきが出るため、手早く丁寧に均一に塗るのがポイントです。

これらの作業を経て大風の絵は完成を迎えます。骨組みと合わさってしっかりとした風になる日が待ち遠しいですね！

さて、そんな作業の数々に私がどのように関わっていたのかと言いますと、まず、私は鶏の元絵を描かせていただきました。約12年ぶりに復活する大風の絵を担当するという緊張とやる気で空回りすることもありましたが、東近江大風に新風を吹かせられるようなものに仕上がったと思っています。大風保存会や制作に携わられるみなさん、東近江市民の想いを乗せられるものになっていれば嬉しいですね。しかしながら、改めて感じるのは、100畳サイズはやはりデカイということですね。まだ立ち上がった姿で見られていないので、絵の密度や描き方、濃淡のつけ方などこれで本当に良かったかな…とドキドキしています。顔の部分の下絵作業なども担当させていただきましたが、なかなか印象が決まらず個人的に大苦戦していました。同じように尾羽などの下描きを担当していた方々も大変苦戦されていました。大きい絵に悪戦苦闘する姿もまた醍醐味だと感じていますが、次回また元絵を描くことがあればもう少しわかりやすくしたうえで描きこんだほうがいいのかもかもしれません(反省)。

作業をする中で、今回により驚いたのは制作の進行スピードです。20畳サイズなどはまだわかるのですが、その約5倍の面積にあたる約11m×12mのサイズにもかかわらず、毎日に完成に近づいていく様子は圧巻でした。人数が多いからというのはありますが、初めて制作に関わる人もいるなかで目立ったミスもなく場をまとめあげられていたのは、作業工程や分担、進行管理が練り上げられているからこそだと感じました。制作に参加しているだけではわからない大風保存会の努力がまだまだあるのかもしれないですね。今後そちらも伝えていけるようにしっかりとこの100畳敷大風制作を観察していきたいと思います。

最後に、長々とした紹介になりましたが大風会館HPでは作業の様子を写真とともに随時アップしています！

わかりやすく纏まっているので、大風便りと併せて是非ご覧ください！9/6(土)9:30～は完成披露も予定していますのでお楽しみに！



制作の様子 QR コード

ニチャレンジ“大風”参加者募集ニ



東近江市に伝わる大きくてカッコいい「東近江大風」を、
君たちの手で作ってみませんか？

チャレンジ大風

わたSHIGA 2025 国スポ 障スポ

大風を揚げる瞬間がワクワク！

初めての子どもでも大丈夫！
ベテランの職人さんが、最初から最後まで丁寧に教えてくれます

こんな君たちにおすすめ！
ものづくりが好き！
大きなものを作るのが好き！
新しいことにチャレンジしてみたい！
空を飛ぶのが好き！
みんなで協力して何かを成し遂げたい！

東近江大風保存会
活動動画が
サントリー公式
チャンネル(SUNTORY)で
公開中ご覧ください。

開催期間 令和7年9月～令和8年1月
対象 東近江市内の小学4・5・6年生
募集人数 20名(先着順)
募集締切 8月31日(日)まで FAXかフォームで
申し込みください。

申し込みフォーム

詳しい内容は、裏面をご覧ください。

世界風博物館東近江大風会館 〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号
TEL.0748-23-0081 FAX.0748-23-1860 IP.050-8034-1140
★主催★ 東近江大風保存会 ★後援★ 東近江市教育委員会、公益財団法人東近江市地域振興事業団



大きな大風、カッコいいよね！空に舞い上がる大きな風を、作ってみませんか？東近江大風保存会では、8畳サイズの大風を作る「チャレンジ“大風”」の参加メンバーを募集しています。ベテランの職人さんが、優しく丁寧に教えてくれるから、初めての子どもでも大丈夫。大きな紙に絵を描いたり、竹を組んで骨組みを作ったり、みんなで力を合わせて、自分だけのオリジナル大風を作り上げよう！君が作った大風が、広い空いっぱいに気持ちよさそうに飛んでいる姿を想像してみてください。とってもワクワクするよね！

参加するのは、小学4年生から6年生のみんな。新しいことにチャレンジしてみたい子、空を飛ぶのが大好きな子、ぜひ参加してみてくださいね！

さあ、みんなで力を合わせて、東近江の空に大きくてカッコいい大風をあげよう！お友達を誘って、一緒に申し込んでね！

●開催期間：令和7年9月～令和8年1月（詳しくは下記のとおり）

●開催場所：東近江大風会館別館（制作拠点）

●募集要項：東近江市内の小学4年、5年、6年

●参加費：1,000円 ●締切：8月31日(日)まで

●内容：制作大風／8畳敷き（約4m四方）1枚

●日程（いずれも午前9時30分から午前11時30分まで）

風作り 9月13日(土)：説明・のりつけ式 紙継ぎ

9月20日(土)：墨打ち・紙巻き

9月27日(土)：下絵・紙巻き

10月4日(土)：墨入れ・朱墨

10月11日(土)：色付け

10月19日(日)：骨組

10月26日(日)：骨組（絵骨）

11月1日(土)：合体・願い札貼り

11月8日(土)：糸調整

大風揚げ 11月15日(土)

（東近江市総合運動公園多目的グラウンド）

まとめ 12月6日(土)：まとめ、今後の大風との関わり方
祝新成人大風揚げに参加

1月11日(日) 午前11時30分から午後2時

（聖徳中学校グラウンド）

参加申し込み方法 フォームもしくは電話（0748-23-0081）

詳しくは大風会館サイト（<https://higashiomi-j.com/oodakokaikan/>）



申込フォーム

ニ「万国風覧会」開催中ニ



今年の夏は「猛暑と大雨」で、大変過ごしにくい日々が続いており、これからも残暑も厳しいと予報されております。十分な水分補給やエアコンの使用などにより、体調を整えて生活してください。

さて、大風会館では、7/19（土）から8/31（日）まで、

夏休み特別企画「万国風覧会」を開催しています。8/16（土）から8/31（日）までは、第3期の世界の風の展示となります。第1期、第2期とは異なった約34か国の風を展示いたします。

本企画展では、世界風博物館（三重県津市）の館長である坂井田茂さんが世界120カ国以上を渡り歩き、収集された貴重な風やその収集の様子をパネルで紹介します。

素朴な風、日本にはない独特な形をした風、色使いも独特で見たえがあり、風を通してそれぞれの国の文化に触れることが出来ます。記録パネルでは、風の写真や風を揚げている写真などを展示しており、坂井田さんの風収集の熱意が伝わってきます。また現地の方が楽しそうにされているのが伝わってきます。夏休みの終わりに、冷房が効いた大風会館にお越しいただき、世界の風を通して、世界の文化に触れてみてはいかがでしょうか？！



ニ親子風作り教室ニ

～キャッフィー・チャッフィーの風を作ろう～



滋賀県で2回目の開催となる国民スポーツ大会の開幕が近づいてきましたね。今年は「わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ」と題して、9月28日(日)から10月8日(水)まで「第79回国民スポーツ大会」

10月25日(土)から10月27日(月)まで「第24回全国障害者スポーツ大会」が行われます。大会の公式キャラクターである「キャッフィー」と「チャッフィー」は、琵琶湖の固有種である「ヒワコオオナマズ」がモチーフにされていて、「キャッフィー」と「チャッフィー」の愛称を合わせると「キャッチ」になり、“人の心をキャッチする”という意味が込められているそうです。

東近江大風会館では、国スポ・障スポに合わせ、大会公式キャラクターである「キャッフィー」と「チャッフィー」の形をした風を作る親子風作り教室を開催します。風の大きさは縦約85センチあり、申込み時にキャッフィーの風かチャッフィーの風か、どちらのキャラクターを作るか選んでいただけます。出来上がった風を大空に揚げて、大会を盛り上げましょう！公益財団法人東近江市地域振興事業団・こども応援事業の一環として、風作りにご参加いただいたお子様には、オリジナルデザインの缶バッジ作り体験も行います。皆さまのご参加お待ちしております。



日時 令和7年9月23日(祝)

1回目 9:00～12:00 2回目 13:30～16:30

定員 各回 15名 対象 小学生（保護者同伴）

参加費 1,000円

申込方法 オンラインシステム、
もしくは電話(0748-23-0081)

アドレス <https://p-gakushu.jp/oodakokaikan/>

申込期間 9月1日(月) 午前10時から先着順
（定員に達し次第終了です。）



ニ2025年9月の予定ニ

6日(土) 100畳敷東近江大風 完成披露

13日(土) チャレンジ“大風”「のりつけ式」

13日(土)～10月19日 大風揚げ物語～祝祭に舞い揚げた風～

20日(土) チャレンジ“大風” 8畳敷大風作り

21日(日) 家族ふれあいサンデー

23日(祝) 親子風作り教室

～キャッフィー・チャッフィーの風を作ろう～

28日(日) 国スポ総合開会式

9月の休館日：9/3・9/10・9/16・9/17・9/24